

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	美術 I	1	2	選択必修

到達目標	中学校美術の学習で養われた創造的な表現と、鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直観力、発想力、構成力を育てる。
------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対しての アドバイスなど	備考
1 学期 中間	高校美術、学習内容と評価について 描画材料の特性と使い方について 課題1：アクリルガッシュ実習 アクリル絵の具の特性を学び明度表を作る。 課題2：名前のイメージレタリング 基本のレタリングを使って自分の名前のデザインをしよう。	高校では、使用する道具と材料を全て各自で購入することになっています。	雑巾2枚用意。
1 学期 期末	課題3：スパッタリング スパッタリングの技法を学び、型紙を使ってできる形の面白さを体験する。 課題4：連続模様 消しゴムハンコを使って手ぬぐいをデザインする。	服の汚れ注意。 連続模様で生まれる模様の面白さを体感しよう。	
2 学期 中間	課題5：パッケージデザイン パッケージの構造を考え購買対象者を考えながら、お菓子の形状、パッケージのデザインを練っていく。	普段何気なく手に取っているパッケージもたくさんの工夫がされていることを知ろう。	
2 学期 期末	課題6：木版画 浮世絵風自画像 ●展覧会鑑賞レポートは2学期末までに提出。	浮世絵の中に自分をはめ込んでみよう。	
学 年 末	課題7：鉛筆描写	写実とはどういうものかを知ろう。	

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・各課題の意義や目的を理解し、進めていく技術が身についたか。 思考・判断・表現・・・十分に推敲し、独自の表現方法を工夫しているか。 主体的に学習に取り組む態度・・・自ら進んで課題に取り組んでいるか。
------------------	--

教科からのアドバイス

今後の日常生活のあらゆる場面で役立つ内容です。「描く」課題と「作る」課題を、実施します。
課題内容は固定ではなく、進度や状況に応じて変更する場合があります。